

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念をパンフレット・広報誌・ホームページなどに載せ、家族・外部への発信を期待する。	昨年と同様の指摘あり、「広くこの考え方を広めていく」という視点で、ホームページの改修、広報誌への記載に取り組んで行く。	・広報誌に理念を掲載する ・HPIについては今年度を目途に理念を掲載する	5ヶ月
2	4	運営推進会議における地域代表委員の増員を望む。会議では利用者の平均介護度や事故・ひやりハットの報告を望む。議事録の家族への配布を期待する。	家族会については、40人近くの利用者家族が出席を希望される場合、半分出席としても別会場を設定する必要などあり現実的でない。議事録配布については忌憚無い意見が会議で話合われることを尊重したい。	会議でケアの質などを話す機会を増やします。リスクマネジメント、事故報告、ヒヤリハットなどの報告も行うようにし、会議の意見を運営に反映させる取り組みを行います。	12ヶ月
3	10	アンケート調査や家族会を行う。	外部評価受診時に京都ボランティア協会から家族様へアンケート調査を行っており、毎年受診していることから余り必要性を感じなかったが、新しい家族様も増えたことから、アンケート調査実施へ向けた取り組みを行っていく。	アンケート項目などをスタッフとも相談し、スタッフ主導で家族様の意向を汲む形としたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。